



カワラヒワ

広報えびな

編集・発行

海老名市役所 広報広聴課

〒243-0492

神奈川県海老名市勝瀬175番地の1

☎ (046) 231・2111

URL <http://www.city.ebina.kanagawa.jp>

*この広報は再生紙を使用しています。

市民の足確保へ向けて

企画政策課
(内284)

バスに関するアンケート結果まとまる

6月に実施した「バス交通市民アンケート」の結果がこのほどまとまりました。このアンケートは「総合バス交通システム検討市民会議」が、より多くの方の意見を参考にするために、みなさんの外出目的や頻度、路線バスに関することから15項目22の設問で調査したものです。同会議では、このアンケート結果をもとに、バス交通で対策をとるべき地域を選定し、運行ルートや運行間隔、料金設定など、運行に向けてシミュレーションした上で、今年度中に試験運行を行う予定です。

6割弱がほぼ毎日外出

調査は、無作為に抽出した市内在住の満15歳以上の市民1500人(回答数934人、62.3%)を対象に実施しました。(太字は設問)

(1) 自家用車・バイクの所有状況は、8割弱の世帯が自家用車やバイクを所有しています。年齢別では30歳代の所有率が最も高く、次いで40歳代、50歳代となっています。地域別では、社家や上郷、中野地域が8割以上と高い半面、さつき町や中新田、東柏ヶ谷地域では低くなっています。

(2) 外出の目的は、4割強の人が「通勤・通学」

で、次いで3割弱が「買い物」となっています。性別でみると男性は「通勤・通学」が、女性は「買い物」が一番多くなっています。

(3) 外出の主な行き先は、4割弱の人が海老名駅、次いでスーパーや商店に出掛けています。(2)で「通勤・通学」と回答し4割の人が海老名駅に向かっています。

(4) 外出の頻度は、6割弱の人が「ほぼ毎日」、2割強の人が「週に2〜3日」です。職業別で見ると、会社員や学生が「ほぼ毎日」で、高い比率を占めています。専業主婦は「週に2〜3日」が最も多く4割以上。次いで「ほぼ毎日」になっています。年齢別で見ると50歳代までの人は「ほぼ毎日」が7〜8割に対して、60歳代以上では5割程度です。

(5) 外出の時間帯について、家を出る時間帯で多いのは、午前8時から正午、家に戻る時間帯で多いのは午後4時以降になっています。

(6) 使用する交通手段は、「自分で運転する車」、「徒歩」、「自転車」と回答した人を合わせると7割を超えています。「自分で運転する車」の回答が多い地域は、本郷、中野、社家が全体の約5割。「徒歩」で外出することが多い地域は、中央や東柏ヶ谷、さつき町、河原口。自家用車・バイクを所有していない人の交通手段は「徒歩」が一番でした。「自転車」は、上郷や下今泉、さつき町で一番多くなっています。浜田町や国分寺台、杉久保などでは、バスの利用率が高くなっています。

(7) 路線バスを利用しない理由は、「地域的に利用の必要性がない」が2割弱、「バスの便が少ない」、「バス路線がない」、「目的地に行くバスがない」が合わせて4割弱。中央やさつき町、東柏ヶ谷など最寄り駅に近い地域では必要性がな

いようです。バス便が少ないという回答が多いのは下今泉や中河内、今里。バス路線がないという回答が多いのは中野や国分北、さつき町です。

8割がバス開設に賛成

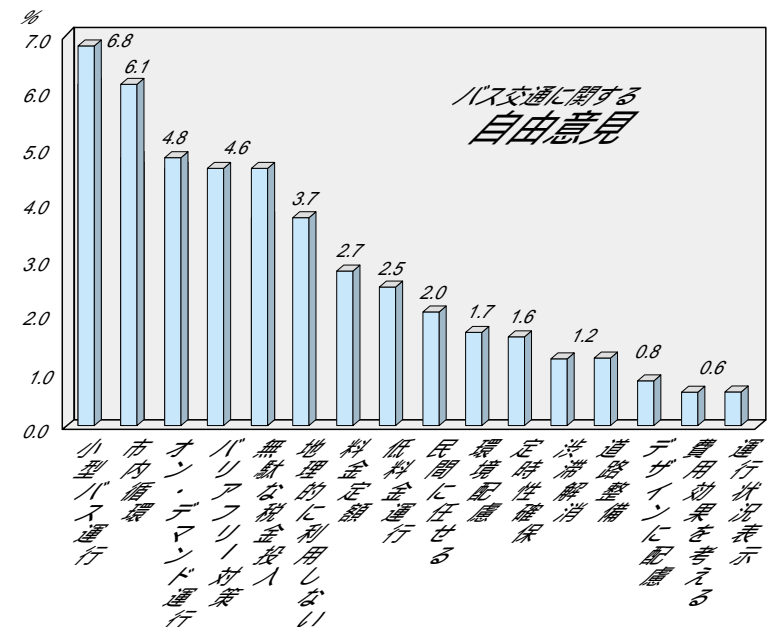
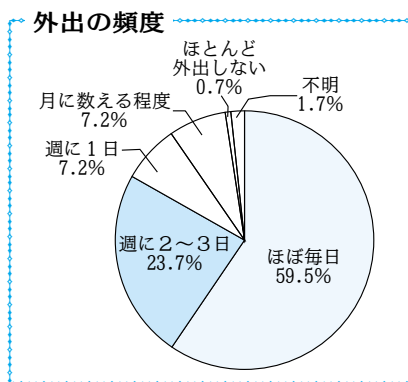
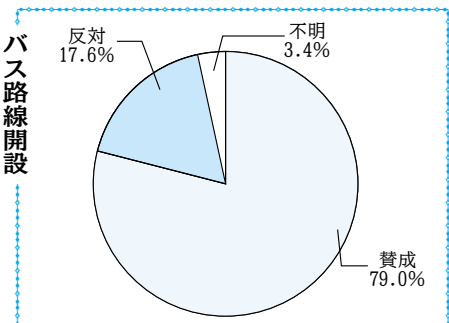
(8) 開設については、賛成が8割弱で、男性より女性の方が多くなっています。中新田や社家、杉久保、上今泉、本郷では8割を超える人が賛成しています。一方、国分寺台や中央では低くなっています。職業別では、専業主婦や無職の人の大半が賛成しています。

(9) 運行間隔は、1時間あるいは30分に1本の運行を求める回答がともに2割超になっています。年齢別では、60歳未満の人は、15分や20分、30分間隔が多く、60歳以上の人は1時間に1本の間隔で利用するとの回答が多くなりました。

(10) 利用料金は、「距離により100円の区間、200円の区間と分ける」が4割弱、「距離にかかわらず一定の料金(100円)がよい」が3割強となっています。年齢別では50歳未満の人は「距離により100円、200円と分ける」が多く、60歳以上の人は100円均一を希望する人が多くなっています。

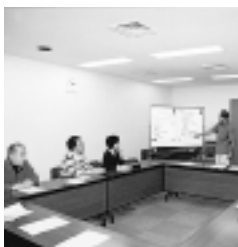
(11) バス停までの距離は、7割強が「300以内(歩いて約5分)が良い」という回答でした。

(12) バス停の位置は、7割弱が家の前に



総合バス交通システム検討市民会議とは

ボランティアとして参加している20人の市民委員で構成されています。市内バス交通の充実と利便性向上を目指し、市民が気軽に利用できる交通システムについて、市民の立場で意見を出し合って検討しています。



アンケート結果報告書